

「インディバ®」のさらなる可能性、奥深さを実感できる 「第21回インディバ®・コンベンション」が開催

スペインで生まれ、世界中で活用されている高周波温熱機器、それが『インディバ®』です。『インディバ®』を日本で販売する株式会社インディバ・ジャパンでは11月13日、『第21回インディバ®・コンベンション』と銘打ったイベントを開催しました。同機器を導入している美容サロンや美容クリニックのユーザーたちが多数出席、『インディバ®』の脂肪吸引術前術後の使用や歯科分野での施術などの発表に、聞き入っていました。



「インディバ®」の新たな有用性・有効性をユーザーや研究者の方々が発表するイベント「インディバ®・コンベンション」。今年で21回目となりました。

「第21回インディバ®・コンベンション」は11月13日、東京・京橋で開催されました。東京駅から好アクセスの立地ということもあり全国から多数の「インディバ®」ユーザーが参加しました。同イベントは、温熱作用・非熱作用・電流作用のある高周波温熱機器「インディバ®」の新たな有用性・有効性を紹介するもの。世界中で使われ日本でも28年の実績を持つ「インディバ®」は、エステティックなど美容分野、メディカル分野でも多数導入されています。

株式会社インディバ・ジャパンの山口祐司会長の挨拶で幕を開けた「第21回インディバ®・コンベンション」では、同機器の研究者や自施設で「インディバ®」を導入しているユーザーがさまざまな角度からの「インディバ®」の有効性を発表しました。株式会社インディバ・ジャパンは、「インディバ®」ユーザーをはじめとする同機器の関係者を、親しみをこめて「『インディバ®』ファミリー」と呼びます。壇上に立った「『インディバ®』ファミリー」は誰もが熱のこもった講演を繰り広げました。

なかでも注目を集めたのは、脂肪吸引手術前に「インディバ®」で施術することの有効性の発表。脂肪吸引ではこれまで、ダウントIMEを軽減し治癒を早める目的で術後に「インディバ®」が使用されるケースが一般的でした。しかし術前にも「インディバ®」で施術すると、患者さんは体だけでなく心もリラックスでき、術後の回復にも好影響だと明らかにされたのです。

また、「インディバ®」独自のテクニック「ハンドRES」によるケア、新製品の「スカルプチャーセット」活用による座位での施術などにも関心が集まっていました。

スポーツ・治療分野へ展開している「インディバ®・アクティブ」からの発表にも驚きの声が。歯科領域から矯正歯科治療に鍼灸と「インディバ®・アクティブ」を併用した事例の発表で、アスリートへの施術が成績の向上にもつながっているという内容です。

また、「インディバ®・アクティブ」では、インストラクターによる座りすぎケアの発表もありました。実生活でも役立つ内容はとてもためになるものでした。

歓声が上がったのはスペシャルゲスト、人気急上昇の若きアーティストの新浜レオンさんの登壇。新浜さんももちろん、「『インディバ®』ファミリー」です。ライブの前には「インディバ®」のケアでコンディションを整えるといいます。

「『インディバ®』ファミリー」たちの講演は、いずれも驚きに満ちていました。美容医療としての活用法、導入による売り上げ増報告、店舗拡大の成功事例など、参加者した「『インディバ®』ファミリー」が自らのサロンやクリニックで生かせるポイントも多多ありました。

繁忙期を迎える前の同イベントは、「インディバ®」の可能性、奥深さを再確認するきっかけになったようです。